

【報道関係各位】

 2023年4月3日  
 「熱中症ゼロへ」プロジェクト

## 2013年の活動開始から10年、「熱中症ゼロへ」プロジェクト 2023年の活動を開始 公式サイトリニューアル「熱中症予防啓発活動の“今まで”と“これから”に向けて」を新たに公開

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクト(以下「本プロジェクト」)は、2023年シーズンの活動を2023年4月3日(月)から開始します。

活動開始にあわせ、本プロジェクト公式サイトは熱中症の正しい予防・対策情報のさらなる発信強化を目指してコンテンツをリニューアルしました。また熱中症にまつわるトピックスなどをまとめた「熱中症予防啓発活動の“今まで”と“これから”に向けて」コンテンツを新たに公開します。



本プロジェクトは2013年に活動を開始し、今シーズンで11年目となります。昨年は国内で観測史上初めて6月に気温が40℃を超える地点があり、また東京都心では年間の猛暑日が16日と過去最多を記録するなど、年々暑さが厳しくなり、熱中症を取り巻く環境も変化してきています。

2023年の活動は、本プロジェクト発足当時から掲げる「みんなの力で熱中症をゼロにしよう」に改めて焦点を当て、「必要な人に、適切なタイミングで、わかりやすく」をテーマに推進します。また今年も多くのオフィシャルパートナー企業の賛同をいただき、本プロジェクト公式ツールや、各社の商品・サービスを通じて、ともに熱中症予防啓発を進めていきます。

### ■「熱中症ゼロへ」プロジェクト 公式サイト

URL <https://www.netsuzero.jp/>

熱中症予防・対策について知りたい方がより情報にアクセスしやすいように、公式サイトのTOPページをリニューアルしました。さらに今シーズンから「コンテンツライブラリ」ページを新設し、豊富な情報からコンテンツ別に必要なページを探しやすくなりました。



## ■「熱中症予防啓発活動の“今まで”と“これから”に向けて」

URL <https://www.netsuzero.jp/10th>

環境省による「熱中症予防強化月間」の設定や、また 2020 年には「熱中症警戒アラート」が環境省・気象庁で施行実施されるなど、この 10 年で熱中症に関するさまざまな出来事がありました。新規に公開する特設ページでは、熱中症や気象にまつわるトピックスを年表形式でまとめているほか、2023 年度「熱中症ゼロへ」オフィシャルパートナーや専門家、PR 大使のコメントを掲載しています。



## ■「熱中症ゼロへ」プロジェクト公式ツール

本プロジェクトではポスターやリーフレット(日本語・多言語)など、対象に合わせた公式ツールを制作しています。協力自治体や協力団体等で掲示・配布を行うことで、熱中症の予防を「必要な人に、適切なタイミングで、わかりやすく」伝えていきます。



## ■「熱中症ゼロへ」プロジェクトとは



熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまう方をゼロにすることを目指して、一般財団法人 日本気象協会が推進するプロジェクトです。プロジェクト発足以来、熱中症の発生に大きな影響を与える気象情報の発信を核に、熱中症に関する正しい知識と対策をより多くの方に知ってもらう活動を展開してきました。2013 年の活動開始から 10 年となる今シーズンは「必要な人に、適切なタイミングで、わかりやすく」をテーマに、激甚化する気象環境や変化する社会のニーズをとらえた熱中症の予防啓発活動を実践していきます。

## ■一般財団法人 日本気象協会について

日本気象協会は、民間気象コンサルティング企業の先駆けとして 1950 年に誕生しました。防災・減災や洋上風力発電の分野以外でも、気象データを活用した商品需要予測や電力需要予測、気候変動対策などのコンサルティングを通じ、気象データのビジネスでの利活用を提案しつづけています。所属する気象予報士の数は 350 人を超え、日本最大級の規模を誇る気象の専門家集団として企業の ESG 投資や SDGs 活動への支援も積極的に展開中です。

・「熱中症ゼロへ」のロゴマークは日本気象協会の登録商標です。